

アメリカの世界戦略と 東アジアの緊張

～アジアの平和をどう作るか～

2022年12月16日、岸田内閣が「国家安全保障戦略」など3つの文書（安保関連3文書）を閣議決定しました。安保関連3文書は、相手の領域に反撃する能力（反撃能力、敵基地攻撃能力）の保有などの軍事的整備を内容とするものであり、これまでの我が国の安全保障戦略を大きく転換するものです。

安保関連3文書の閣議決定により敵基地攻撃能力を備えることが可能とされたことが国際政治（特に、東アジア政治）に及ぼす影響、また、仮に今後憲法9条（特に2項）が改定された場合、それが国際政治（特に、東アジア政治）に及ぼす影響を正確に把握した上で、憲法9条改正の議論をする必要があるのではないのでしょうか。

今回の市民講座では、現在の日本を取り巻く安全保障環境の実態と、そこから今後、東アジアの安定と平和はどのように構築されるべきなのか、またその過程における日本国憲法9条の存在意義についてお話していただきます。



講師

国際政治学者

羽場久美子氏

青山学院大学名誉教授
世界国際関係学会アジア太平洋会長
早稲田大学招聘研究員
グローバル国際関係研究所所長
世界国際関係学会元副会長(2016-17)

2024

3/2^土

午後2時30分～4時30分

質疑応答（15分程度）含め、約2時間

入場
無料

仙台弁護士会館4階（仙台市青葉区一番町2丁目9-18）

Zoomによるオンライン併用（講師現地参加）

オンライン参加の方は下記URLからご参加ください。

URLは当日、仙台弁護士会のホームページでもご案内します。

URL <https://us06web.zoom.us/j/89881799295>

なるべく開演時刻までに、上記URLか、QRコードからご視聴を開始ください。上記URLは、仙台弁護士会のホームページ（<https://senben.org/>）にも掲載しますので、そこからクリックして頂けます。

